

■e-黒板ニュース（第41号）：英国訪問報告（その1：学校訪問とSue先生）

ロンドンに来ています。私にとっては私的な旅行ですがBett Show 2005への参加、電子情報ボード活用校の学校訪問、キーマンへのインタビュー（BESA部長Barker氏、PTGO CEO Mr. Jury氏、スマートテクノロジーズ社社長Nancy Knowlton氏）も予定しています。

Bett Show 2005が始まる前日に、英国で電子情報ボードのシェア第2位のPTGO社CEO Mr. Juryのご紹介で、ロンドン市内の小学校（Avondale Park Primary School）と女子中・高等学校（Sacred Heart High School）を訪問して、IT活用の授業見学と先生方との意見交換の時間を持つことができましたので、報告します。
両校とも全教室に電子情報ボードが設置されているという学校です。PTGO社の優秀な社員であるMr. Stephen NorrisがBett Showの準備で超多忙の中、私と三菱総研の吉村さんを案内して下さいました。

教育への強い情熱を持ち、少しでも授業をよくしようと工夫を続けながら、自らそれを楽しんでいるパワフルで明るいSue先生に出会えたこと、「IWB is Wonderful」
「IWB以前はICTがどのように教育に役立つのか分からなかったが、IWBを見てからはICT活用のイメージが見えてきた。そして、全ての教室でIWBを使えるようにした」とおっしゃる校長先生にお会いできたことは、とても素晴らしい体験でした。
(関 幸一)

今号の目次：

- =====
1. ロンドンの学校訪問1：Avondale Park Primary School訪問報告
2. ロンドンの学校訪問2：Sacred Heart High School訪問報告
=====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。会員の皆様からの投稿もお待ちしております。

宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

e-黒板研究会のホームページ

<http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban>

をご参照ください。e-黒板ニュースのバックナンバー等もご覧いただけます。

1. ロンドンの学校訪問1：Avondale Park Primary School訪問報告

Avondale Park小学校は、Bett Showの会場からは比較的近い場所にありました。北Kensingtonに位置する複数のエスニック・コミュニティのための小学校です。素晴らしい設備も完備している大きな建物です。IWB (interactive whiteboards) は全ての教室とホールの2ヶ所と作成中のグラウンドに設置されています。
各学年は2クラスで1クラスは約25名です。校長先生と二人の副校長および17名の授業をしないスタッフを含む22名のティーチングスタッフがいいます。

学校のホームページ

<http://www.avondalepark.kensington-chelsea.sch.uk/>

を参照下さい。先生方を子どもたちのイラスト入りで紹介しています。

二つの建物の10教室ほどの授業を順番に見せていただきました。全ての教室にIWBが設置されており、全て活用されていました。

学校と子どもたちの評価にかかわる大事な期末試験の準備のための授業を終えた直後に、6年生の担当のMs. Sue Grahamにインタビューさせていただきました。とても収穫の大きかった学校訪問でしたが、詳細な報告は吉村さんのレポートを待つことにして、この速報ではSue先生からいただいたご意見を紹介します。

「IWBが授業に有効な3つのポイント」は、

- (1) 授業の中で子どもたちとのインタラクション（やりとり）が増えること
- (2) 教材の質を向上させられること
- (3) 黒板にたくさん書いたりする必要がなく、学習目標の達成に集中できることです。

たしかに、Sue先生は次から次へとアイデアを出して、教え方を工夫し、それに合わせて教材をどんどん創っていかれます。それが実に楽しそうなんです。彼女が説明を始めたら止まりません。

そして、授業中も同じペースです。「音・色・スピード・楽しい気持ち (Fan)」がポイントだそうです。子どもたちも先生の「楽しい気持ち」に共鳴して、授業の中で一体化し、素晴らしい授業が現実化します。

この学校では、パワフルで明るいSue先生に出会えたことが一番印象的でした。「日本にもこんな先生がいたら、こんな授業ができれば、学級崩壊なんかとは無縁で、子どもたちのやる気とエネルギーを引き出せるのになあ〜」と感じました。

2. ロンドンの学校訪問2 : Sacred Heart High School訪問報告

2校目の学校訪問は、Sacred Heart High Schoolでした。
 こちらも、先のAvondale Park Primary Schoolから車で10分程のところにある、Bett Showの会場から近い場所にある学校でした。公立でありながら女子校でした。授業の内容もそれに合わせた内容になっていました。

日本では、電子情報ボードがあっても黒板と併用という学校がほとんどですが、この学校では黒板はありませんでした。したがっていつも必ずIWBを使って授業をしています。

じっくりと見せていただいたのは、歴史の授業と美術の授業でした。歴史の授業では、生徒たちが二人一組で調べてきたことの発表にIWBが使われていました。パソコン教室で行われていた美術では、教材提示に活用されていました。

授業後には、それぞれの担当の先生方にインタビューをさせていただきました。

インタビューをしている時、校長先生が突然、部屋に入って来られました。そして、”IWB (interactive whiteboards) is Wonderful!”とおっしゃいました。「IWB以前はICTがどのように教育に役立つのか分からなかったが、IWBを見てからはICT活用のイメージが見えてきた。そして、全ての教室でIWBを使えるようにした」とのことでしたが、これは私が日本の学校の全ての校長先生に実感してもらいたいことでもあります。

 両校訪問の間の昼休みに、Mr. Stephen Norrisと吉村さんと私の3人は、近くのスターバックスでランチをしながら、意見交換をしました。

Mr. Stephen Norrisは先生の経験があり、IWBに関連する仕事をしたいということでPTGO社（プロメシアン社）に入社したそうです。教育への強い情熱を持ち、先生の視点からサポートができる人です。英国の「教育の情報化」を支えている一人だと感じました。そんな彼に出会えた幸運をとてうれしく思っています。

そして彼に、とてもとても感謝しています。だれがいったいビッグイベントの前日に、見ず知らずの外国人を二つの学校に案内してくれるでしょうか！

以上

=====
 編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一
 e-黒板ニュース メールアドレス： ekokuban@cec.or.jp
 e-黒板研究会 ホームページ： <http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/>
 =====